

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.65

*エイリョウ・アラカルト 「LCCの皆さんは今年も頑張っています！」



研究熱心なライフクリエイティブクラブの皆さんが、できたてのピザを校長室まで運んでくれました。なんと今回は手作りプリン付きです。

ピザは焼きたてでまだ湯気が上っています。カルパスや夏野菜のトッピングの上にとろけるチーズがたっぷり、生地も外側がカリカリ、中がふわふわと絶妙です。

サイドにはこれまたできたてのプリン。焼き上げの熱いプリンは初めてですが、口当たりといい、濃厚さといい、まさに高級プリンでした。

グルメレポートみたくなりましたが、お世辞抜きに本当に素晴らしいです。ライフクリエイティブクラブ（略称LCC）の皆さんご馳走様でした！

All for one, and one for all. No.66

H29. 8. 6 「北大キャンパスツアーに行ってきました」

キャリア教育を推進する上で大切なことは、生徒自身の意欲の向上です。上級学校という知らない世界を直に見ることで、未知なる可能性を肌で感じる事が可能になります。それは、その後の高校生活のあり方や学習意欲にも大きく影響します。



大学見学や講義体験を主とするキャリアプロジェクトを起ち上げ、今年度から新たな企画を実践しています。今回の北大キャンパスツアーもその一つです。

大学キャンパスの上辺だけでなく、講義体験、学部説明、学食等とあらゆる場所を見聞してきました。

早くから進路を考えてもらうため、2年次生だけでなく、1年次生にも募集をかけました。第1回目ということで改善すべき事項も出てきましたが、何より参加生徒が声をそろえて有意義な時間だったという感想を持ってくれたことは大きな収穫です。

今後は希望者が増えることになると思います。私も一層の内容の充実に努めてまいりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。9月には教育大も予定しています。



All for one, and one for all. No.67

H29. 8. 9 「韓国水原（スウォン）市高校生との交流事業」

本校では、異文化を身近に体感する機会を増やすために、昨年より国際理解、国際交流、

国際貢献に関わる取組を推進しています。今回は韓国水原市の高校生約40名との交流事業を実施しました。彼らは日本語を学ぶために東川町に短期留学に来ている生徒の皆さんです。

異文化交流ということもあり、本校では日本の文化を沢山知ってもらう企画を準備しました。弓道、茶道、芸術、LCCなど、日本固有の文化に携わる生徒に数多く参加してもらい、グループごとに分かれて交流を深め合いました。



紹介や会話は英語と日本語の両方を使って行いましたが、今回の留学生は皆日本語が堪能なのに驚きました。話を聞くと、アニメの影響もあるとかで、それがきっかけで日本や日本語に関心を持つようになった生徒さんもあるとのことでした。

グローバルな時代にあって、世界を知ることはこれからの若者には必須事項です。「互いにどのような高校生活を送っているのか」、「未来についてどう考えているのか」、さらには「風習や文化の違いは」など、視野を広げるだけでなく、互いを尊重し合う豊かな心をも育んでいきます。



若者同士の交流の深化は私たちが想像している以上に早く、自然と会話も弾み、わずか2時間程度の交流の中で分かれを惜しむまでになっていました。

異国であっても、互いに相手の気持ちを思いやり、心を通わせようとする純粋な高校生の姿は本当に素晴らしいです。



今後も様々な交流を通して、異文化理解を深めるための企画をし、生徒たちが大きく成長してくれることにつなげていきたいと考えています。